

食感を生かした タケノコのクリームコロッケ



- 旬** の食材を使った **今月の一品**
- 材 料** (12個分)
- ゆでたタケノコ……………200g
 - ハム……………80g
 - 玉ネギ……………60g
 - バター……………10g
 - 衣
(小麦粉、溶き卵、パン粉…各適量)
 - ホワイトソース
(バター…30g、小麦粉…50g、牛乳…200cc)
 - 塩、コショウ……………少々
 - プチトマト……………6個
 - レタス……………100g

作り方

- ①タケノコ、ハムを1センチ角に切り、バターで炒めてから皿に移す
- ②①のフライパンにバターを溶かし、玉ネギのみじん切りを焦がさないように炒める
- ③②に小麦粉を振り入れてよく炒め、牛乳を少しずつ加えて木ベラでかき混ぜ、塩、コショウで味を整える
- ④③の中に①を加え入れ、パットに広げ冷めてから12個の俵型に形づくり、小麦粉、溶き卵、パン粉の順に衣をつける
- ⑤揚げ油を180℃に熱し、④を入れて1～2分揚げる
- ⑥器に盛りつけ、プチトマトとざく切りにしたレタスを飾る

きらり

おばま 人

黒色の古めかしい自転車に紙芝居の枠台を載せ、各地で紙芝居を披露する「チャリンコかみしばい屋さん」。平成八年十月の旗揚げ公演から十年余りが過ぎ、最近は市外からも声がかかるようになりました。週末になると、おおい町や高浜町にも出かけるそうです。

「当時、市社会福祉協議会の大平孝徳事務局長から「紙芝居のボランティアをやりたいんやけど、いっしょにやらんか？」と誘っていただき、二つ返事でOKしました。運よく自転車も枠台も知り合いが所有していて、譲り受けることができたんですよ」と、語り手の一人、山田茂子さんは話します。



チャリンコかみしばい屋さん

みんなの笑顔がわたしたちのパワーの源

当初メンバーは七人でしたが、現在は三人増えて十人で活動しています。

紙芝居は約三十作品。メンバーみずからが話を考え、会長の足立直紀さんが絵を描いた手作りのものばかり。メンバーは、紙芝居を通じて「ふるさと」のよさ、「人への思いやりの心」「自然破壊の怖さ」「物を大切にすること」などを訴えます。

「特に力を入れて作った作品が「アマモちゃん」と「ヘドロマン」。これは、小浜湾をきれいな海に戻したいと願う、小浜水産高校の地道な活動の一端を担えたらいいなと思って紙芝居にしたものです。海を汚すヘドロマンをアマモちゃんが退治する話なんです」と山田さん。アマモの定植活動を応援する気持ちが伝わる作品です。

「紙芝居といっても、一方的に語るのではなく、途中途中でみんなに話しかけるようにしています。そうすることで会場が盛り上がり、楽しい雰囲気になるんですよ。みんなの笑顔がわたしたちのパワーの源。地域の皆さんに楽しんでもらえるよう、これからも続けていきたいですね。メンバーみんなの思いを山田さんが話してくれました。

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人」(グループも歓迎)を紹介してください。市長室 ☎ 53・1111 内線 325

俳句

小浜市俳句連盟

田ごしらえみな忙しく暇なわれ
平野 田中 辰昭

古くとも気に入る麦藁帽かぶり
太良庄 田辺 民江

山柳

川柳かもめ教室

雛の宵語り合ってる母のこと
山王前一丁目 浜詰 若子

玄関を出てから決める散歩道
城内二丁目 古川 貞夫

盲点をつかれ頬骨硬くなる
千種二丁目 新田千代子

短歌

蒼島短歌会

燃え盛る大護摩の火を拝みつつ
護摩札くべて息災祈る
飯盛 地村 伊代

一斉に「おばあちゃん」と迎へられ
今日シルバートの保育実習
飯盛 古谷 擴子

豊かなる誉れの高き小浜なるに
酒造所減りてこころ
東勢 杉崎 康代

広告

広告

広告

広告

広告

広告